

他工事によるガス管損傷事故防止について

ガス事業者により敷設されたガス管が、建設工事等の施工時に破損・損傷し、ガス漏えいに伴う交通困難、避難、供給停止等が発生する事故が多発しています。

ガス管を損傷すると、ガス爆発などの大きな事故につながる可能性があります。建設工事等によるガス管の損傷事故を防ぐため、工事を行う事業者の方や工事に従事される方は、以下の内容について、事前の準備や確認を行うようにして下さい。

ガス事故がなくなるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

- 工事前には、ガス事業者へ、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者へ立会を求めてください。
- ガス事業者へ照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにしてください。
- ガス管付近で作業する場合は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業してください。
- ガス臭いと感じた場合やガス管を損傷した場合は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者へ連絡してください。



経済産業省

中部近畿産業保安監督部近畿支部 保安課

建設工事等におけるガス管損傷事故（他工事事故）について

1. 最近の他工事事故件数の推移

【全国の状況】

件数	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
ガス事故	490	587	694	731	974
都市ガス	305	383	467	471	767
液化石油ガス	185	204	227	260	207
うち他工事事故	62	78	74	93	90
都市ガス	46	61	61	70	72
液化石油ガス	16	17	13	23	18
うち事前照会なし	41	60	50	60	68
他工事事故負傷者数	6	7	16	10	9

* 都市ガスは一般ガスと簡易ガスの合計（経済産業省ガス安全室調べ）

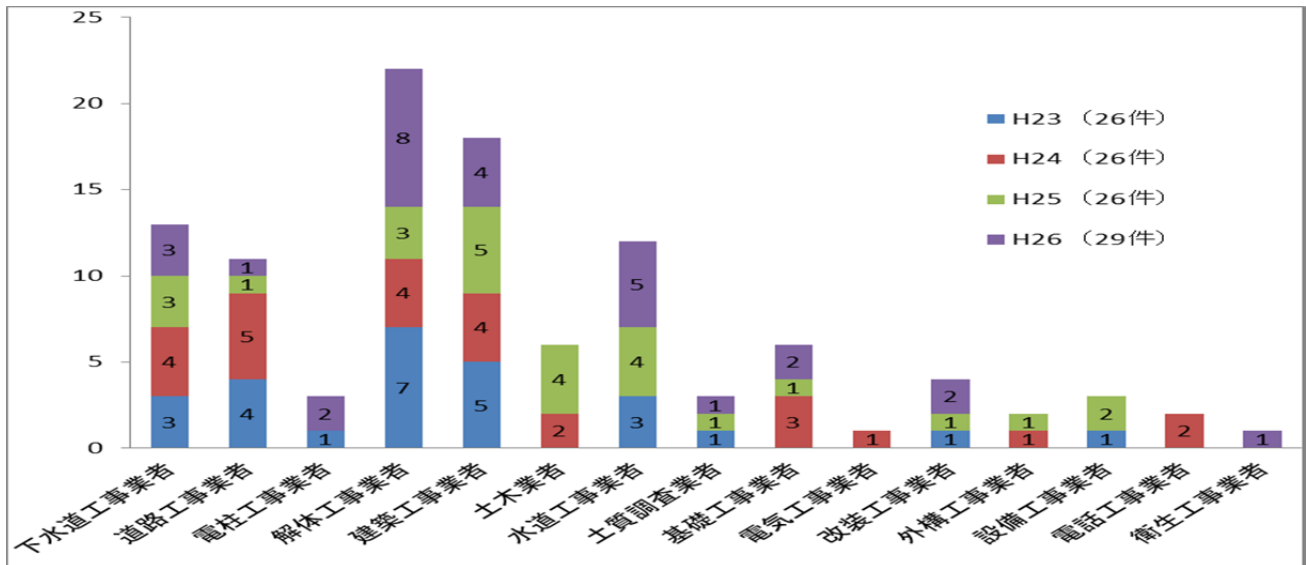
【近畿地域の状況（H26年11月30日現在）】

件数	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
ガス事故	81	88	122	114	248	131
都市ガス	65	74	106	96	236	124
液化石油ガス	16	14	16	18	12	7
うち他工事事故	8	19	26	26	26	29
都市ガス	7	16	25	25	24	29
液化石油ガス	1	3	1	1	2	0
うち事前照会なし	5	15	16	13	23	22
他工事事故負傷者数	0	0	4	0	0	0

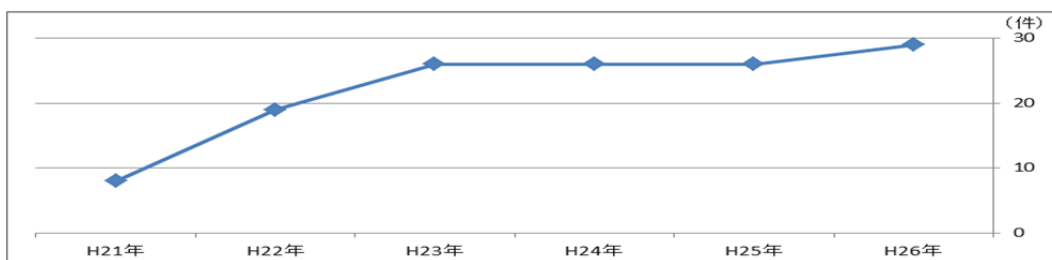
* 都市ガスは一般ガスと簡易ガスの合計（中部近畿産業保安監督部近畿支部保安課調べ）

2. 近畿における他工事事故の状況（H26. 11. 30 現在）

（工事業者別内訳）



（他工事事故の推移）



中部近畿産業保安監督部近畿支部 保安課
 電話 06-6966-6050
<http://www.safety-kinki.meti.go.jp/>